

普及項目	水産物加工
漁業種類等	キビナゴ刺網
対象魚類	キビナゴ
対象海域	天草西海

牛深産キビナゴの販路拡大を目的とした缶詰の商品化

天草広域本部水産課・永田 大生

【背景・目的】

天草市牛深地区は、本県で最もキビナゴの生産量が多く、牛深ハイヤ節の歌詞にも登場する。キビナゴは古くから牛深でなじみのある魚であるが、鮮度落ちが早く、本県以外にはあまり出回っていない。また、5～8月の多獲期に単価が下がる傾向にある。そこで、地元水産高校と連携したキビナゴ缶詰を製造し、「牛深産キビナゴ」の販路拡大および多獲期の単価向上に寄与することを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) 地元水産高校とのキビナゴの加工品製造に係る打ち合わせ

日時：平成 30 年 5 月 29 日

場所：熊本県立拓心高校マリン校舎(天草郡苓北町富岡)

参加者：天草漁協牛深総合支所青壮年部 5 名、拓心高校 6 名、天草市 1 名、水産課 1 名

概要：青壮年部と拓心高校との打ち合わせを実施した。打合せでは青壮年部によるキビナゴの販路拡大の意向と高校のキビナゴ缶詰製造の意向が繋がった。その後、青壮年部が朝獲れのキビナゴを高校に 4 回(計 108kg)納品し、煮付け 875 缶およびアヒージョ 48 缶が製造された。

(2) お披露目会・試験販売の実施

日時：平成 30 年 11 月 5 日

場所：海彩館(天草市牛深町)

参加者：天草漁協牛深総合支所青壮年部 5 名、天草漁協 2 名、天草市 1 名、水産課 1 名

報道関係：朝日新聞、読売新聞、熊本日日新聞

概要：報道関係者に対しキビナゴ缶詰のお披露目会実施後、来客者に向けた試食も実施した。客から、「おいしい」、「珍しい」、「400 円は少し高い。」など今後につながる有益な意見をもらえた。その後 100 缶を試験販売した。

【成果・活用】

本商品は、保存性および希少性が高いことから「牛深産キビナゴ」の販路拡大につながる可能性がある。お披露目会后、青壮年部が地元イベントで試食会を実施するなど、本商品が牛深産キビナゴを PR するツールになっている。今後、青壮年部および漁協の意向も踏まえ、事業化に向けて民間の製造販売業者とのマッチングも進めたい。



写真 キビナゴ缶詰商品化の取組み
a: 青壮年部と地元水産高校による商品化打合せ
b: 缶詰の試作品
c: 缶詰の中身
d: 客に試食を勧める青壮年部
e: 地元直売所での缶詰の販売